京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

本紙定價 ▲一ヶ月金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵税一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休日（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲[illegible]十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久耕一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話大三[illegible]
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番

東京だより

●貴族院は國民道德教育の振興に關する建議を政府に提出することゝ相成候が、衆議院にては既に豫算委員會に於ても此事に關し質問もあり、希望もありたるが、今や全院の意志を定めて建議することゝなりたる次第に候。

●抑々、我國開闢以來忠孝を以て、國民道德の基本と爲し、道德的觀念頗る盛んなるものありしが、西洋の文物輸入し來るに及び、物質的文明の進步は駸々として見るべきもの有之候得共、道義上の觀念に至りては漸く固有の美所を失せんとし、大逆事件の發生をさへ見るに至れり、此頃稍や國民道德の基礎の動搖を自覺する者ありて、頻りに其維持せられ益々鞏固を致さんことに熱心する篤志家少なからざるは實に國家の爲大々慶事に有之候。

●貴族院に於ける建議の如きも要する是に由りて發せられたるものに候、然るに世人動もすれば、忠孝を以て舊しとなし、文明の今日に適合せざるものなりとなす者有之候、是れ想はざるの甚しきもの、其の活用を知らざるものにて有之候。

●而して、斯る說を抱きたる者をして云はしむれば、修身道德にも西洋の倫理學說を採りて用ゆれば、別に忠孝の講釋をなすにも及ばじと、飛んでもなき事を申し居候、思ふに忠孝を無用視する我輩こそ國家を賊ふ輩にて候ふべし。

●され、西洋倫理の說は我が國民道德とは根底を異にせり、其學說を以て我國民道德を修めんとするは、風邪の藥を以て胃病を療せんとするよりも謬れるものに候、其謬りを正すこと先づ學校より始むべき事に候。

安東縣の豆粕界

三井物產安東縣出張所が近來甚だしき勢力を以て豆粕の買占に着手し居れるが廿一日は二萬一千枚の購入したれば三井の豆粕總數八万枚に達し猶は三井以外の持物をも合計せば實に十五万枚の多きに上り安東に在りて異に季節の成績なりとす而かも右は僅々十日以內に買入れたる總額なりと云ふに至つては夏季かゝるを得ざる次第なるが識商は之れが爲め幾分値上げを決行し八兩七錢を唱へ鐵塊も相場常に變動して殆んど歸一するところを知らざるもの如し然るに斯くの如きは商務總會の常例にして市況を攪亂する迄でにも至らざるべければ我が安東の斯界は解氷と共に一段の活氣を呈するなるべしと云ふ

外事一束

▲土國　政府は領內北阿弗利加種族の義務兵役法發布の結果領內に叛徒起る。
▲倫敦　電報によれば阿地株式市場に於ては日露兩國の公債少しく氣弱し。
▲露國　に對する淸國の回答は蒙古の自由貿易權と科布多領事館設置承諾。
▲示威　露國は淸國より滿足すべき回答を得ん爲中央亞細亞の兵を動かす。
▲辭職　伊太利國內閣は急進黨が選舉法改正問題に付援助せぬ爲總辭職す。
▲計畫　露國政府は二千萬磅を要する大水路工事計畫を發表せしが其計畫。
▲內容　は西伯利亞のオビ河及び裏海に注ぐカマ川を合する運河を設けて。
▲歐洲　西伯利亞諸鐵道間の連絡を圖り又裏海及び北氷洋間聯絡を含めり。
▲佛國　にては三縣州の一部を他州に併せしに付て地方民激昂騷動を起す。
▲米軍　はカーター將軍に引率せられ四五日內戰地に向はんとす而して其。
▲地點　は目下の所秘密に附せられるも一段は墨西哥境界ならんと觀測。
▲滿洲　鐵嶺縣坑西南四里の一村落に二十九名の鼠疫發生目下警戒中なり。
▲彈劾　淸國が米國より借款は盛宣懷自己を利する而已と長折彈劾上奏せり。

文苑

◎鷄林集（三）　雲の峰（上）　安東花櫻園寄

松高し終日せみのなきしきる　翠
出てはいくつも峯作る雲　異
船住居結句氣樂にめしくふて
我名もよめぬ無筆氏けり
さし昇る芋名月の隈もなし
落、加減こなき田の水
歌種も探りて見れは多い秋
訪ふ人なくは明ん柴の戸
松風も通ふ繼路のしはりとや
なの情けの御は憎うなし。
揺よせた雪は氷て消へもせす
すつくと塔の高き寒月
閑たとは嘘よ狸のはらつゝみ
二升の酒て足らぬ三人
自轉車も乘り馴れは樂な物
今は老のみの親不知なり
雨も亦花は降らぬまてに止み
耳に馴染の黃鳥のこゑ

◎新刊紹介

△貿易（三月號）　世界貿易の趨勢を詳細に報道して漏す所なきは本誌の特色なり而かも淸國時文欄英文欄等を設けしは注意周到といふべし（東京市京橋區宗十郎町日本貿易協會一冊十錢）

△東京經濟雜誌（千五百八十六號）　本誌重要記事は阪谷男爵の「韓國銀行の監督權」林董伯の「我が邦の實業界」其他例により經濟上の論稿は經世家の再讀すべきものなり（東京市京橋區彌左衛門町經濟雜誌社一部十二錢）

△小學生（第一號）　本誌は國定敎科書の練習に資し學校敎育を補助するの目的を以て朝野敎育大家の贊助を得て發行するものにして記事の取材排列等編輯上の苦心現はれ加ふるに趣味津々多くの挿畫を加へたり小學生は勿論敎師諸氏に取りても必讀の雜誌なり（東京市神田區表神保町國文館一冊十錢）

召使れ初　第三十三回　黑法師

「はゝ」と鶴兵衛も捨て置かれず、れ年寄澤野樣御線邊御方と仰せ、頼つてれ目通り願はせられるは、澤野樣へ御傳言にてもあらせられる事ではござりませぬか先刻よりれ詞はござりまするも念の爲め今一應此事申し上げるでござります」と更に國尾に對ひて云ふ、「澤野樣御線邊と喃」と國尾は初めて耳を傾けて「れ名を什麼とか仰せられた喃」

「佐倉樣と仰せござりました」
「一向に存じない」
「御逢はせござりまするか」
「左樣ぢやの、澤野樣御線邊の方とあれば、れ目に掛るが禮儀かも存ぜぬが、私は既尾、れ逢ひ申した緣で什麼の用にも足らまいでの」
「やはりれ逢ひなされませぬか喃」
「失禮ぢやが御免ら蒙る、執次の衆から好いやう云ふてたもるぢや」
「今日の御代參、澤野樣御役柄と存せさせたで久しう大德寺門前に御待たせあらせた氣にござります」とれ政は側より口を舐ぬ
「ろりや甲斐ない事」と國尾は考ゐるやうに見ねしが、「澤野樣に御用とあるを、私が逢ふても詮無いちやよ、斷なす」

御殿に奉公してはあるが、私は國尾、彼方は澤野樣ちやでの、御用さきを忘れてまで、れ目に掛る用はない、れ斷り申してたもれの」
「是非もござりませぬ」と鶴兵衛はれ政を見返つて、彼樣に仰せぢや、佐倉樣れ氣に障らせぬやう、申し上げてたもこちやよ」
れ政は又心得て去る、れ道は掛物ろ他の物を取方付ける、その擧止の優れて嫻雅かに、その風姿の優れて美しきを、國尾は沈と見て居たるが、やがて立道の次の間に立ち去るを見送りて
「さて好い女當家縁かの」

先方はれ縣々、容易にれ聞き入れござりませぬ」
「はての、縣々乘讃樣が、何とて當家へ奉公に來て在らせぢやの」
「奉公と申すではござりませぬ、此方から折入つてれ願ひた借り申して居るのでござります」
「生れは何れぢや、普通人の風とも見られぬ」
「唯今は御浪人、日陸御身では在らせられまするが、以前は大和郡山御城主本多廣之助樣御家中で、加判の列まで加はらせたれ歷々のれ譜樣でござります」

鶴兵衛はこれを冒頭にして、れ道の素性を說く事明白なりき、國尾はつくづく聞き
「道理は普通人ではあるまじく思ふた貧者の中に節を持し、二君に事へさせぬれ志、今時には有難く存ずる、御親父れ名は什麼とか云ふれた」
「正木佐五右衛門樣、早や御老体でござります」
「貧しうはあらせても、御身分ある方何處やらか違はず、文學武藝何なりとら御嗜みあらせうの」
「これ一つ心得の無いものとてはござりませぬ、いかなれ大名衆れ奥勤めを爲されても、れ耻しうはない御躾、私共には勿体無うござります」
「佐倉殿御歸らせと見ゆるのう」
「什麼とも申して參りませぬ、いかにれ願ひなさせても、肯かれ無く御歸め れ引取りなされたと見ゆまする」と鶴兵衛は云ひ切り「粗茶一トつ參らせますれ、茶の間へ御入らせござりませ」

▲東宮の御旅程
東京電報(廿四日)
東宮殿下には大戰艦薩摩、巡洋艦筑摩の進水式に御臨場相成ることは既電の如くなるが其御召艦たる光榮を荷ふ第一艦隊所屬巡洋艦鹿島は曾て山陰行啓に際して御召艦たりしこともあり今回再度の光榮を荷ふものなるが同艦は目下他艦と共に九州方面にあり明二十五日旗艦薩摩と共に横須賀に廻航二十七日殿下を搭乘し奉り西下して瀨戶內海を經て二十九日宮島假泊三十日吳に廻航、殿下には同日午前九時三十分擧行の薩摩進水式に御臨場再び御乘艦豐後海峽を經て九州の南端を迂廻し四月一日午前八時三十分佐世保御入港九時三十分擧行の筑摩の進水式に御臨場御歸路は同一航路を吳港に成らせられ同港御假泊の上二日午前御上陸遊ばされ陸路還啓相成る御都合なりと拜承す

▲朝鮮公債法公布
本日の官報を以て朝鮮事業公債法外二件公布されたり

▲全國書記長會議
農商務省に於ては來十月十八日より全國商業會議所書記長會議を召集し全國商業會議所の活動方法調査事項の連絡、事務上の統一、同業組合提携連絡、實業奬勵金活用方法等其他重要事項に就て協議する筈なり

▲大藏證券借換
大藏證券四千万圓中三千万圓現金一千萬圓借換に決定す

▲函館に大火
函館に大火あり一百余戶燒失す

▲戰艦起工期
來る四月一日頃戰鬪艦一隻鋼裝巡洋艦三隻起工命令あるべく同時に廢艦を發表さるへし

▲第三義勇艦建造
第三義勇艦は長崎三菱、神戶川崎の兩造船所にて製造請負方競爭中なりしが今回川崎造船所に請負はしむる事に決定したり

雜報

▲平南の産業方針

平南の産業
篠田平南內務部長談

平安南道管內の産業は言ふまでもなく穀物を最とする、今最近調査の收穫統計を示せば米が二十九万六千石大麥が五萬七千石小麥が五萬三千石大豆が十萬五千石小豆が十四萬六千石粟九十九萬七千石此耕地面積は二十二万九千七百十町七反步である其他棉麻煙草等の類も特用作物中に數へ得べきが更に一層有望なのは養蠶だ、現在の桑田は五千二十九町步で其産額は四千四十八石三斗を示めし之に從事し居る戶數は七千百四十八戶ある、其現狀は洵に見るに足らぬが指導宜しきを得ば農家の副業中最も多望の前途を有して居る

▲無欲度し難
鮮人は一般に無欲だ、無欲と云ふと宜いが鮮人程欲の無いものは無い、即ち欲が無いから向上心が無い、向上心が無いから如何に指導誘掖を試みても殆んど手應へなく現に其一例を擧ぐれば昨秋の如き蠶業奬勵の意味を以て桑苗十五萬本の多數を分與せしに其過半數を枯死せしめて了まつた、無代で分與し而して懇々其有益を說示した時は唯々諾々として持ち歸るが之を實地に視察すれば貰つたから植ねて置かふ位の心懸けで些しも手入れをしない、謂はゞ義理に植ね付けたまでだから遂に斯んな不結果を見るに到つたのだ、實に其無欲にして向上心なき民ほど度し難いものは無い今更歎息の至りに堪ねない

▲産業奬勵方針
斯の如き人民に對つては積極的に産業の奬勵を行ふも到底不可能事たる所以を熟く感じた、殊に彼等一班の氣風を稽ゆれば物に變化の來るのを甚しく厭ふ則ち善かれ惡かれ現狀を墨守せんとして居る、故に學術的に氣候風土を研究して其執るべき産業を授くるも勞徒らに多くして効果は之に伴はないから寧ろ現在のものを基礎としヨリ以上の收穫を得せしむべく之を改良する方針に定めて居る、思ふに彼等が永年執着し居る所以を見れば必ずしも捨つべからずであろふ

▲同化問題の前途
平安南道は何人も知る如く兩班と稱するものは一人も居ない、全部平民階級ばかりだ、所謂李朝との因緣は根本的に淺い、故に此邊の人民は仕立樣如何に依つては或は意外に同化し易いかも知れぬ、併し之を同化し果して吾等母國民と同等ならしめ得べきや否やは一寸疑問である、佛人某の著せる羅馬興亡史を見よ羅馬の亡びたる所以に就て何と說いてあるか、併し政策は吾輩の論議すべき限りでないから之を言ふまい、兎に角朝鮮人其者に就いては大に研究を爲さなければならぬ

▲徵稅方法の改善
現在の徵稅方法は一々吏員を派して取立をして誅求的に思はしむるの嫌あるから是非改良したいものだ、然れども現在の如く財力微弱なる上納稅義務の觀念薄くては言ふべくして行はれない、出張しなければ納めないから仕方がないのである、故に産業を奬勵して納稅力の涵養を計りつゝある一方に於て面長等を召集して交る〲事務講習を實さしめて居る、又面長と稱するも殆んど抱腹の限りで告知書其他公用書類の如き家財と混在せしめて容易に所在を發見しない、其癖徵收金丈けは嚴重に保管して居る、實に呆れて物が言へぬ斯ふ言ふ人民を御する苦心察すべしじやないか

政黨支部の新設
國民黨は近々其支部を當地に新設する由なるが政友會にても同樣支部設置の

鹿兒島觀光團歡迎
鹿兒島新聞社主催の朝鮮觀光團員百餘名は二十四日夜無事着京せり、吾人は之を歡迎す。明治の初年故西郷南州翁征韓の議を廟堂に提唱したるも、時利あらず、同僚の爲に排斥せられ、空しく千古の識見を抱いて城山の露と消ねにし悲慘なる事を。然るに星移り物變り、幾多の年月を重ね、始めて故南州翁の所論實徹し、日韓併合は斷行せらる、吾人は故南州翁が夙に世界の趨勢を洞見せし識量に敬服し、併せて其偉大なる人格を慕ふて已まず、而かも南州翁の征韓論を主張せしは徒らに空論壯議を試みしに非ず、其之を唱へんとするに先んじ、股肱とせる別府池上兩氏をして具さに滿州朝鮮の地を踏査せしめしと云ふ、何ぞ用意の周到にして論議の緻密なる、翁や死すとも、論ずる所後世に及ぶも朽ちざりしぞ、眞に宜なりと謂ふ可し。鹿兒島縣は實に此大偉人の產れし地なり、縣人の故南州翁を追懷するの情一層切なるものなるを想はずんばあらず今や、同縣知名の士一團となり來つて此土を視察し、大に鮮土啓發の爲に力を盡さんとすと、蓋し鹿兒島縣人として此擧あるは、故南洲翁の遺志を大成するものにして、吾人は諸士が翁の志を繼承するを欣ぶと共に、諸士が視察の目的を全ふし、鮮土に於て一大光彩を放たんことを希望し、併せて一行の行旅平安を祈ふ。

內議あり何れも遠からずして事實となるべしと云ふ

●御慰問使入京
滿鮮駐剳軍御慰問使として差遣せらるゝ上田侍從武官は廿四日午後十時廿分南大門着列車にて新義州より入京の筈

●定例長官會議
二十四日午前十一時より總督府に於て定例長官會議を開き山縣政務總監、石塚、木內、宇佐美の各部長官小松外務部長官事務取扱明石警務總長池田通信局長鈴木度支部長官代理小城經理の長官代理俵副總裁列席政務の打合せをなし午後一時散會

●慈惠院長會議
所報 慈惠院長會議は愈々二十五日午前十時より總督官邸下なる中樞院事務室に於て開會する事となりたり當日は宇佐美內務部長官小原地方局長、藤田醫院長、與賀技師以下各慈惠醫院長十三名出席協議事項の內容は旅務規程及藥價入院料等の統一問題を主要なるものにして當日は特に山縣政務總監臨時出席の上一場の訓示を與ふべしと云ふ

●地方倉庫の現況
度支部所管の地方倉庫所在地は大田、大邱、平壤、江景、全州、光州、榮山浦外五箇所なるが是等倉庫に於ける現在の貨物總數は十三萬八千二百十六個にして見積價格八十九萬七千四百八十三圓なり本年は二箇所の增設ありたるも昨年同季に於ける庫入價格百四萬四千三百五十七圓に比すれば昨年度の方庫入高の多きは當時の穀物相場低廉なりしに依るものなりといふ

●鴨江の運輸計畫
鴨綠江沿岸貿易は殆ど支那人の壟斷に委し居れるは痛嘆すべき現象にして其原因は同江運轉事業を彼等の獨占に歸せしめ居る爲めなり故に之が回復を計らんには先づ一大會社を組織し彼等と對抗せしめ其勢力を驅逐するに如かずと當局者に於て目下計劃中なり而して近々實現を見るべしと聞く

●東拓株主總會
東洋拓殖會社にては來る五月廿日頃東京商業會議所に定時株主總會を開催する筈にて目下營業決算報告の作成に關し連日重役會議を開きつゝありと因に總會には宇佐川吉原正副總裁井上理事嶺秘書役長出席すべしと

●東拓監事來期
東洋拓殖會社監事松平子爵野田卯太郞の兩氏は總會附議の諸案監查の爲め來月中旬來鮮すべしと

●總督邸午餐會
山縣政務總監には二十四日午後一時別報練習艦津輕艦長田所廣海氏以下將校十一名並に清國總領事等約十五名を總督邸に招待し午餐會を開きたり

●海軍練習生招待
山縣政務總監は二十四日午後一時より京城ホテルに津輕艦練習生七十一名(清國留學生八名を含む)を招待し午餐會を開けり總督府よりは政務總監代理外波少將藤波通譯官列席したり

●古谷氏の用向
古谷李王職御用掛が四月上旬來鮮の事は昨報東電の如くなるが同氏の用向に關し某大官の語る所に依れば從來王世子殿下の經費は宮內省より支出せられ居たるも今回李王家特別會計より支出する事に變更せられたるを以て其の事務打合せの爲なりと

●邦人敎員養成
朝鮮總督府中學校にて臨時小學校敎員養成所を設置し來る四月より授業開始の筈にて中學卒業生又は第五學年在學中のもの四名推薦方を本國各縣へ依賴し福岡縣にては兩名を同府へ薦擧したり

●京城民會開議
京城民會は二十三日を以て歲出豫算案の第一讀會を終り二十四日午後一時より歲入案の第一讀會に移る

▲人さま〲▼(十四)
圓山太嶺師

「坐禪とは四條五條の橋の上往來の人を其儘に見て」居る是れ禪の靜的工夫とか申す、則ち禪門の前には王侯貴族も無く匹夫野郞の群も無い、實にや初音町の一小庵圓山太嶺師の臨濟寺を窺へば種々階級の人物が出入して濟度を乞ふて居る、而ふして坐禪和讚を合唱して無盡燈論の提唱を聽いてア、胸も頭も濟々したと言つて居る、彼の歡笑會は圓山太嶺師の勢望に依て成れる一團で兎に角美しい集合だ、處で師は如何なる人かと言ふと鎌倉は圓覺寺の出身で釋宗演師の高弟であるそふな、宗演師の圓滿卓越的なる處は少しも見受けないが是れ師の師たる所以であつてソコに實があり味があるのだ初音町の今の臨濟小庵は師が遂行苦行の托鉢に成つたので縱令本願寺の百分の一でも道の光りだと思へば難有いじやないか

●民團高女卒業式
京城民團立高等女學校は既報の如く二十四日午前十時三十分第三回卒業證書授與式を擧行す卒業生四十六名にして內十一名優等生にして先づ君が代の唱歌につれ三浦校長の報告及卒業生に對し訓戒の辭を述へ來賓內務部長官代理小田學務課長の式辭京城府尹代理高橋事務官の告辭朝鮮新報峯岸本社長の祝辭ありて校卒業生總代平山孝の答辭あり殊に本社寄贈の奬學賞品に就て三浦校長は懇ろに告諭する處あり優等生總代平山孝子謝禮を述べ正午十二時非出度く式を終了す

●仁川高女授與式
廿四日午前十時より仁川高等女學校に於ては民長及民會議員列席優等證書授與式を執行したる優等生の姓名は左の如し

一年生 森つる、坪井さく、荒木さも、津井きく、二羽まさ、秋瀨みや
二年生 關岡よし、糸木初世、末松みち、柿本まつよ
△三年生 津秋やす、若泉すい

●美洞普通學校卒業式
公立美洞普通學校にては二十六日午後一時より卒業式を擧行す

●美洞實業補助學校卒業式
公立美洞實業補助學校にては二十六日午後一時より卒業式を擧行す

鹿兒島觀光團入京
鹿兒島新聞社主催に係る鹿兒島朝鮮實業視察團の一行は愈々二十四日午後七時十分南大門驛着入京巴城館京城ホテル天眞樓不知火館に分宿したり今一行の京城に於ける視察日程を記せば如左

▲二十五日午前當地發仁川に向ひ同港視察の上同日午後三時三十分龍山着龍山軍司令官官邸參觀同日午後六時當地に引返し▲二十六日午前八時倭城臺集會總督府總督官邸好運園政務總監官邸等を經て午前十時憲兵司令部前より乘車パコダ公園を經て午前十一時半昌德宮に參內參觀李王家の午餐會午後五時景福宮等宮內參觀二十七日自由行動午後十時出發

▲總督府の歡迎
總督府は二十七日正午鹿兒島觀察團の一行を京城ホテルに招待し午餐會を催する由

▲縣人會の招待
鹿兒島縣人會は觀光視察團一行を二十六日午後六時より花月樓に招待し盛んなる歡迎會を開催すべしと

▲會議所の歡迎
京城日本人商業會議所は來る二十七日午前十時同樓上に今回入京の鹿兒島觀光團の一行を招待し茶菓を饗し同時に當地商工業上に就ての應答ある筈なり

●鹿兒島觀光團入仁
鹿兒島新聞社主催に係る朝鮮觀察團の一行は二十五日午前九時四十分仁川驛着官民有志の歡迎あり正午八坂樓に於て同縣人會より晝餐を饗應し民團よりは同時に麥酒サイダー等の寄贈あり後市內を巡覽し午後二時三十分杻峴驛發列車にて龍山に向へり

●東拓の視察團
東拓會社にては總督府指導の下に內地視察團を組織し五月中旬出發せしむべき豫定なるが其總員は百三十名にして各道より郡守二名儒生兩班三名面長篤農家五名合計十名宛各道長官に依託して撰拔すべく往復日數は三週間乃至四週間にして目的地は東京大坂の都會を始め廣島兵庫愛知靜岡埼玉の各縣に亘たり豫て內務省及農商務省に依賴し特種事業の通知を得置き而して總員を三班とし各班には通譯を付し各々其必要方面別れて視察せしむる筈なり又郡守及面長等の爲めに特に町村役場中の成績良好なるものを撰び見學を爲さしむべし

●小原局長歸任
過般來南鮮地方即ち全羅南北慶尙南北忠淸南北の各道視察中なりし小原地方局長は二十三日夜歸任したり

●倉富長官の微恙
倉富司法部長官は一兩日前來輕微の感冒に罹り咽喉病を併發せる爲め自邸に引籠り靜養中也

●津輕乘組員の巡覽
二十三日仁川入港の練習艦津輕乘組將校二十九名及練習生七十一名の一行は二十四日午前九時南大門驛着入京昌德宮秘苑、博物動物園等を巡覽午後一時總督邸及京城ホテルの午餐會に列席午後歸艦したり

●今村南部署長東上
南部警察署長今村警視は二十三日午後八時新橋驛發列車にて出發の旨來電ありたり

●加來榮太郞の辭職
仁川疑獄被告人として拘留中の加來榮太郞は去廿二日豫審決定せしに付一昨日商業會議所頭及民團議員の辭表を提出したりと

●商女同窓會開催
今回の京城民團立高等女學校卒業生は四十七名にして開校創立以來第三回目なるが第一、二回を合すれば八十一名の多きに達せるより來廿八日午後一時同校に於て右卒業生一同が同窓會を開催するよし

●鴨綠江解氷期
鴨綠江の楚山附近は急流の個所解氷したるのみにて本月中は氷上の通過支障なかるべく江界附近は漸次部分の解氷を見るも全部の解氷は本月末の見込にて中江鎭附近は處々解氷したり

●全北の內地觀光團
全羅北道全州金堤兩郡有志の發起に成る內地觀光團は最初人員を五十名と限りたるに六十余名の希望者あり尚ほ今少しく勸誘して百名に增加することゝなり準備整ひ次第出發すへしと

公人私人
▲橫山鐵三郞氏(辯護士) 天眞樓に
▲秋山寅次郞氏(全羅南道慈惠醫院長) 浦尾旅館に
▲水野悅造氏(江原道醫院長) 同上
▲石塚英三郞氏(全州醫院長) 同上
▲甲斐四郞氏(慶尙南道醫院長) 同上
▲井口胖氏(咸鏡北道醫院長) 同上
▲田中德次郞氏(忠淸南道醫院長) 同上
▲久德隆籌氏(咸鏡南道醫院長) 同上
▲齋藤禮三氏(慶北內務部長) 佐藤旅館
▲波多野承五郞氏(三井理事) 釜山
▲岩津信太郞氏(總督府技師) 鎭南浦へ

▲相塲電報(二十四日)
明治町西村支店着電

▲大阪株式(四月限)

銘柄		二作日後場	當日前場
▲神戶電鐵	寄	三五、四〇〇	三五、九〇〇
	引	三五、五〇〇	三五、七〇〇
▲京坂電鐵	同	六二、四〇〇	六二、七〇〇
	同	六二、五〇〇	六二、七〇〇
▲大坂紡績	同	六七、〇〇〇	六七、三〇〇
	同	六七、〇〇〇	六七、一〇〇
▲大阪電燈	同	一〇九、四〇〇	一〇九、五〇〇
	同	一〇一、〇〇〇	出來不申
▲東京株新	同	一一一、九〇〇	一一一、二〇〇
	同	一一一、〇〇〇	一一一、五〇〇
▲大坂株式	同	一三〇、四〇〇	一三〇、九〇〇
	同	一三〇、六〇〇	一三一、〇〇〇
▲同直取引	同	一二八、八〇〇	一二九、三〇〇
	同	一二九、四〇〇	一二九、八〇〇

▲大阪期米
●廿三日前場 三月止十五圓六十九錢▲四月止八十一錢▲五月止九十九錢▲後場 三月寄十五圓六十二錢▲止不明▲四月寄八十五錢▲止不明▲五月寄十六圓二錢▲止不明
●廿四日前場 三月寄十五圓七十三錢▲四月寄九十三錢▲五月寄十六圓九錢

▲仁川米豆取引
●廿三日後場 三四月出來不申▲五月寄十一圓八十三錢▲最高八十四錢▲最低七十八錢▲止七十九錢
●廿四日前場 三四月出來不申▲五月寄十一圓八十四錢▲最高八十七錢▲最低八十二錢▲止八十三錢

▲京城手形交換高▼

三月	金高	枚數
廿四日	二二五、八五四、四四	四八三

▲治外法權▼
帝國議會も愈々閉會になつた、貴族院と云ひ衆議院と云ひあまり香ばしい働はせなかつた樣だが、ソレでも僅かに國家國民のタメになつて居るから不思議だ▲若しも今日我邦に議會が無かつたとしたらドウカ、政府は政友會と情意の投合をヤル世話もなく、從つて萬事は治者の利便を本位として政治をヤル、甚しきに到れば人民は唯だ納稅をする動物として扱はれる▲朝鮮の事に就いてもソウだ、若しも本日議會が無かつたならチイサイ事ではあるが先づ差當り彼の否な特許訴訟代理人の如きは飯の喰揚りだには一般移住民も彼等の跡を追ふて飯の喰揚げとなるのだ▲無能不完全な議會でも議會は矢張り人民の議會だ、我等半島移住民にして總督府に因つて取上げられぬ事でも議會に持ち出だせば必ず救濟を得らるゝのであるのだ、茲に於てか帝國議會は我等移住民にとつて唯一の味方であるのだ▲聞說らく政友會と國民黨とが近々其支部を當地に置くと、若し本當なら結構な事だ、何となれば常設支部の存在は中央と半島との政治の連絡を採る上に於て便利となるからであるのだ▲來年は愈總選擧だ右に付き我半島移住民中からも議員の候補者が出よう、京城、平壤、仁川、釜山、元山及び其他の都市は內地の選擧區との連絡をとつて各一名を出したが良い、徒らに袖手議決の恩澤に浴するは策の得たるものではない▲東拓の紊亂、言語に絕せりであるのだ、監理官とやらは何をして居るのか、事今日に到れば東拓重役は勿論だが監理官にも責任があるのだ▲嗚呼宇佐川總裁、如何に鐵面の彼れでも最早スリコギで腹を切る時分だ、彼れが腹を切らぬ中は東拓の改革もダメだ。

▲京龍兩驛の貨客▼
▲南大門驛乘降客 廿三日の分
貨物賃金 一、八五一、一二
▲龍山驛乘降客 廿三日の分
乘車客 二〇九 下車客 二一四
貨物賃金 一、五一四、四一
▲龍山驛着發高 廿三日の分

▲仁川港の出入船舶▼
▲溫州丸 廿五日大坂より入港
▲士丸 同 小樽より入港
▲溫州丸 同 眞南浦へ向出發

雜報

醸造試驗所

度支部にては昨年一月より京城西部竹添町に醸造試驗所を設け朝鮮酒類の製造方法の改良及菓實酒の試驗を爲し居るが聞く所によれば試驗所の地積は三千三百坪あり醸造試驗室等三百五十九坪九棟を有し器械器具一切を備へ昨年一月より本年三月迄に濁酒三百三十石藥酒二百六十六石燒酒四〇度四九、〇〇苦子酒六石葡萄酒二石苺子酒七升白酒九石を醸造したり同試驗所の目的とするところは

朝鮮の酒類製造方法は極めて幼稚にして不潔酒を免れざるのみならず酒類も亦不良不定にして衞生上嫌忌すべき點あり醸造學上及經濟上衞生上改良を行ふの必要あり又朝鮮は氣候風土の關係上菓樹の養育に適し殊に咸鏡北道の葡萄及林檎は到底日本内地に於て望み難き良好のものを産するも生食用としては自ら需用に限あるを以て之が利用の方法として菓實酒醸造の法を講じ兼て栽培者に知らしむる必要あり本所は以上の必要により設立せしものにして朝鮮酒類の改良と菓實酒の醸造とは本所主要の目的なれども朝鮮に於ては朝鮮内に於ける濁酒製造業者及之が企業者の爲に米の適否氣候と設備の關係又は貯藏方法等を研究する必要を認めたるを以て更に濁酒の一科を加へたり而して事業の方針としては醸造學上の研究より醸造經濟及酒質の改善等實際的研究に重きを措き理化並細菌學的試驗は醸造上當面の必要に對して行ふに過ぎず從つて諸般の設備も亦之に準じて設計せりと云ふ

間島移住增加

北韓地方殊に咸鏡北道を中心とせる朝鮮人窮民部落の日に膨脹加はるに從ひ全村擧りて間島に移住するもの瀕々たるの有様なるより其の筋にても之れが誤解を設き其の心得違ひを論し一方移住の防止に力めたるも何等其効なく依然として移住する者多く本月一日の如きは四百餘人の一團体の移住者を見たる以來日に益々增加の姿なるより會寧憲兵分隊に於て二月中の同方面の移住者を調査したるに總戸數二百二十九戸にて人員は一千三百七十八人なるが今其郡別に記せば左の如し

會寧郡	二十七戸	百七十八人
鏡城郡	七十五戸	四百七十人
吉州郡	三十七戸	二百〇五人
穩城府	二十五戸	百六十九人
明川郡	三十九戸	二百三十六人
咸興郡	五戸	三十人
城津郡	八戸	四十人
咸南榮興郡	一戸	二人
鏡城郡	十一戸	五十二人
端川郡	一戸	五人
總計	二百二十九戸	千三百七十八人

因に本月一日以來頓に激增せりと

鹽價騰貴に就て

近來鹽價の騰貴は最も著しき現象なるが之を昨年の同期に比すれば仁川に於ては昨年度藥鹽四十五錢なりしに對して本年は五十五錢釜山五十九錢の六十四錢鎭南浦四十二錢の五十五錢群東浦四十二錢の五十錢平壤四十七錢五厘の五十七錢五厘麥金浦四十五錢の五十五錢にて各地一体に二三割方の騰貴なりとす此原因はペストの流行に伴ひ沿岸の警戒を嚴重にせし爲め密輸入の減少せしも一原因なるが昨年より貯藏少なく凡ての人氣が遂に騰貴を爲さしめたるものなりと

青年講習錄發行

嚴に國民讀本を著はし青年に我國体と國民性とを略述し國家組織の大綱と國民の權利義務とを明示し國民本分の實行を教へたる大隈伯爵は自ら編輯監督となり國民教育青年講習錄を發行し一個年を以て憲法行政自治法律軍事財政經濟農工業科學歴史地理其他の必要の科目を諸名士に平易可嘲に講話せしめ之を掲載し汎く會員に頒つと因に會員たらんとする者は一個年分會費三圓を東京市麹町區麹町二丁目一番地國民教育講習會に前納すべしと

廣告

▲南大門驛貨物發着高 廿三日の分 發送 九二噸 到着 二九四噸 乘車賃金 一、八五一、一二
▲龍山驛貨物發着高 廿三日分 發送 一噸 到着 三一噸 貨物賃金 一三、四五 乘車賃金 二〇九七七、六〇
▲土佐丸 同 小樽より入港 ▲温州丸 同 鎭南浦へ向出發 ▲利祐丸 同 安東縣へ向出發

毒取夫人玉春

▽ア、七月が待遠しい

神奈川縣生れの田中せい(二七)と申せば知つて居る人は四五人位もあるかないか覺束なけれど新町遊廓皆春樓の玉春と云へばウン彼れか彼れなら知つて居るとも知つて居るとも大に知つて居る親も知らない所までも知つてるんだ、ヘン、ッガモチーど數團八も多かりなんが併し知つて居たかとて決して名譽でもなく知らないからとて差したる恥辱でないは無論勿論の事なるが一体夫れが何うしたと尋ね疵もなく御披露に及ぶ一埒アラ〳〵ザッと下の通り、抑も此の妓と申すは明治四十一年の七月中旬三百五十圓の前借にて皆春樓に抱へられしものにて爾來出精の功空しからず今では相當に流行妓の一人に數へらるるに至りしに就けては從つて隨分惡戰苦鬪もし負傷を受けては新町病院の御厄介に成る事も度々なりしは云ふまでもなきが此の妓の主義として轉んでも無手で起きぬと云ふので病院へ入つて居ても何がなして小使位取れる工夫は無いものかと考へた末ウムと胸に當つたは院長杉原君の自分に對する特別親切な待遇振り豈に思召しからずして夫れ能く斯くの如くなるを得んやちやッだと思ひ附いたので早速秋波となんとぞ思ふ氣色を見せたるにぞ然なきだに魔魂參つて居る杉原院長ヤ喜んだの喜こばないの早速情約を締結して末の末まで云ひ交はしたること芽出度かりける次第なりで夫れからと云ふもの玉春も希望通り假令入院して居ても小使錢には不自由の身となつたのみか年期が限けたらドクトル夫人と致る成ります契約まで成立したが本年の七月が來るのを樂みにして居たるに昨年暮から杉原さんの擧動に水臭い處がある仔細ぞあらんと探つて見ればアラ嫉ましや怨めしや腹立たしや口惜しや怕や殘念や水臭いも道理變な暴動のあるも道理杉原さんは昨年八月頃雇ひ入れた看護婦の相良よし(二五)と深い交情となつて居るとかならんとしつゝあるとかの次第判明せしぞ已やれ薄情男ヤツか其儘に置くべきかと直にも飛び込んで引つ掻き毀して呉れ樣と据まで端折つて一旦は立ち上つて見たけれどヤレ待て暫時、成る程左樣すりや自分の怨みは霽れるが男は相良に取られて終うは知れてある此れは一つ考へねば飛んだ馬鹿を見るべしと斯る際にも無手起きぬ主義から打算して看護婦排斥運動に着手し樓主の君塚が取締と云ふ處に着目し相良と云ふ看護婦は不親切で不公平で不檢束でふくれつ面のふんばりで太い奴でと盛に頭にふの附く文句を探して遊説に及びけるに彼れの運動の功にや又は全く相良よしが惡しかりしにや兎に角解雇されしにぞ其の機を外さず玉春痛くもない腹を擦りて病院に駈け込み院長の膝に□□と斗りに泣き倒れて散々謝罪らせた上で何んで見棄て宜いものか年期が滿けたら宿の女房ちやと云はせた腕の扱も凄さよ

●人身賣買

京畿道陽川郡南山面月村里統戸不詳李茂安方姉夫羅致善(三八)は同面同里二統七戸李書房が貧困なるを利用し一攫千金の儲けをせんと昨年陰九月より最とも親切らしく李の妻李照順に對し人生僅かに五十年の短き此の世那麽な貧苦無望なる李が家に薄衣粗食の浮き目を忍び居るより一層京城の富豪家に嫁せば飽食暖衣の出來る貴女良く自分の言を味ひて左樣してはどうと口を緘きて列べた甘言も羅致善が胸底一物あるを李女が觀破せしや否やは判らねど再三再四の甘言も拒絕されて羅は胸中の殘念をも笑顏で拭ひ居りたりしが偶々十一月李女は同里伯母が許に來留せしに執念強くも羅致善は同月十三日午後八時同家を訪れ遂に李照順を甘言の中に卷き込み愛に兩人は同家を出で其夜は京城西部龍山坊麻浦李姓女方に同宿せしが破廉恥なる羅は同女を可憐くも慈程しての揚句飽きたらず翌十四日午後七時南部駱洞百四統四戸娼妓抱業李景文方に連れ行き李女は寡婦故相當の男あらば周旋し呉れと李女の前を詐稱して之を金五十圓て娼妓に賣り飛せしのみならず同年陰十二月五日頃京畿道廣州郡山城北ハ内龍溪采方に權姓女なる者が同亡夫生存中龍と亡夫との貸借關係上三十圓の借金に對し之を皆濟する迄との約束の下に下女として働き居りしを亦も喰ひ物にせんと羅は三十圓を懷中して龍溪采方に至り下女權姓女に對する三十圓は自分で返濟するに因り權姓女を自分と妥合す樣承諾し呉れと持ち掛けしに予龍は一も二も無く快諾せしが奸漢羅は權姓女を前記李景文に亦も金四十圓にて賣却し居たる事龍山警察署の探知する處となり廿一日檢事局に送らる

民團の市中農場

▽最新式の施肥法

我京城居留民團當局者は民團財政の安固を計るの目的を以て農園經營の計畫を立て來年度より實行すべし然れども最初より餘りに廣大の面積に手を染むるは馴れぬ事業の失敗に終らんも圖るべからずとて先試作場を西小門通り本社前の桑園どを漢城衛生會に交涉して既に之れが賃借契約も成立せしより肥料を是れに仰ぐことの承諾も得て目下盛んに施肥しつゝあり、其の施肥の方法は所々に幅三尺、深さ一間、長さ三間程の穴を掘り肥桶に百杯か程も注ぎ込み上に土を蔽ひ置くと云ふ方法にて極めて新機軸の施肥法なりとか而して試作場を特に人家密集せる往來頻繁の所に撰みたるは農事獎勵の意味と一は監督に便宜なりと云ふ

優等卒業生の謝狀

拜啓 去る二十三日の證書授與式の際は我等の爲に誠に結構美麗なる書籍を贈呈せられ余等は只々感謝の念に堪へず今後は貴社の本意に報る樣學業に努力奮勵致すべく候 先は略儀乍ら御禮迄草々不一

南大門小學校高等科卒業生

三月二十四日 後藤文雄 小川定亮

京城新報社長 峯岸繁太郎殿

●高女優等卒業生

例の通り二十四日午前十時より卒業證書授與式を擧行せられたるが校長の訓示來賓の演說あり卒業生總代平山孝子の答辭ありて終りて優等卒業生へ對し賞狀を授與したる左に對し本社よりは言海一部宛を贈呈せり

- 大和町岡田買氏義妹 林かづ子(十七)
- 本町二丁目潤氏二女 本多幸子(二〇)
- 龍山郡解圭二郎氏女 若林綾子(十八)
- 南山町一丁目爲吉氏妹 邊渡すゑ子(二〇)
- 旭町一丁目治平氏三女 河村春江子(十八)
- 若草町彦左衛門氏二女 舘みつゑ子(十九)
- 馬山浦直太郎氏二女 高田尙子(十九)
- 東四軒町勇次郎氏女 山下ふみ子(十九)
- 太平町一丁目龍太郎氏長女 松下よし子(十九)
- 南大門小學校宿舍内田來氏姪 光永れつ子(十八)
- 旭町一丁目銓太郎氏長女 平山孝子(同)

●退韓處分違反

福岡縣粕屋郡箱崎町三十三番地平民慶尙南道馬山府東城里統戸不詳土木建築請負業山崎三太郎(三三)は去る三十八年渡鮮京城仁川にて同業に從事し居たるも其行爲常に常軌を脱し時々同業者を脅迫或は工事妨害をなす等地方の安寧を阻害するを以て南部署より昨年三月七日退韓處分を受け一者ながら歸國の途中永登浦に留り其後京龍各所に轉居したる樣馬山に居住し居るたを發見されしが尙四十年十二月頃龍山漢江通り二丁目村井甚七を恐喝して金二百圓を騙取せし事等發覺龍山署に檢擧され廿三日檢事局に送致さる

●朴仁淳釋放せらる

去る十五日趙重應子邸に於て誤つて小使を銃殺したる巡査補朴仁淳は取調べの末不起訴となり二十三日釋放せられたり仁淳は必ずや處刑せらるゝものと覺悟し居たるに釋放せられたれば夢かとばかり今更らの如く內地人司法官が罪囚取扱の公明なるに驚き今後行商となり到る處內地人の德を吹聽すべしと

●兩親の不注意から

去る廿三日午後六時龍山元町四丁目四番戸雜貨商藤井佳助二男實(五)が附近の道路に遊戯中折柄通りかゝりし龍山下馬碑七十統一戸朴爲成長男朴順乾(一九)の牛車に背部を轢かれ一時人事不省なりしも直に川村醫院に來り應急手當の結果生命には別狀なしと

●横領事件の公判

龍山大島町三十八番戸居住菊池五郎七は四十三年五月頃より土木請負業早川組倉庫番に雇れ大島町倉庫の看守の任に當り居る內輕便レール數百本其他雜品を横領し入質若くは賣却費消したりとて告訴され龍山桜通り二十六番戸居住古物商阪本長壽は該贓品を故買したりとて同れも起訴せられし事件は京城地方裁判所刑事部にて塚原裁判長野田檢事の係りにて公判開廷せられ被告坂本の辯護人として木尾辯護士菊池の辯護人として岡田辯護士出廷し事實の審問終りて辯護人より早川組主人及事務主任宮田某を證人として喚問あらん事を申請し檢事は之れに意見を陳べ裁判長は合議の上許可せられて閉廷

●阿片密造者檢擧

淸國人張知火(五三)は阿片密造犯として南部署に檢擧され目下取調中

●親の爲めで鞍替

神奈川縣横濱市本牧町三十二番地顧三二女今川たき(二〇)は新町第一樓本店より可憐にも親の借金の爲めとかで桃山吾妻樓に鞍替逢太夫と名乘りを揚げ張店で襠褂の袖も涙にて

四ッ手網

浮世亭魚人

◎新町娼妓讀み込都々逸

○井門支店美知枝
戀に心も狂ふて通ふ 暗くい廓の夜のみち

○同 妻枝
晴れて二人が宿根に 妻と云ふ字を書かれて嬉し

○京城樓花子
人に秀でゝ又ろやされて ついに浮名の花が咲く

○滿月樓君枝
年は若松操は堅く ちぎる心は千代までも

○第一樓二葉
松の常盤の操を立てゝ 枯れて落ちても二葉づれ

◎一口噺

化物生

甲「二本足が救恤恩賜金拜受に來たと
乙「其は餘程速かろう飛脚にするが宜い
甲「其は無理だ 乙「デモ一足飛で行くからす

老人孫伴て「面長さん孤兒ですから宜しく願ひます 面長「此小供ですか 老人「イ、エ私の親がないのです

●呼此將來を奈何

大阪市西區長堀北通り一丁目十八番地當時龍山番戸不詳ペンキ職木村長太郎(三四)は去る本月十四日午前九時頃龍山川端町十一番戸下宿業山口春子方店庭内に有りし短靴一足を竊取廿三日檢事局に送らる

●樂聲會例會

當地樂聲會にては來る廿六日午前九時より旭町一丁目鹽見質店方にて謠會を開催す番組左の如し

△觀音高砂△玉の井△八島△熊野△角田川△鄉丸△百萬(嘶入)船辨慶(囃入)入番△竹生島

●演藝だより

●歌舞伎座 開演中の雷衛門一座は毎夜大入の御禮として二十五日より特等六十錢一等四十錢二等三十錢三等二十錢に引下大車輪にて開演に達と

●壽座 嶄新奇技にて大入にて高評を得つゝある地球壜マンマル一座の大奇術

●御成座 京城座にて開演し居りて好人氣なりし兄弟團一座廿五日は黒岩涙香氏作ルイパー全八場配役は賀茂亨助(岩村)書生太田(原)馬丁勝藏(花房)藝妓小玉(堀江)花房猛(吉井)愛妻れせん(塚本)月ヶ瀬男爵(松澤)馬車夫實ハ戸川副官(富士)藤崎軍醫(梅澤)書生奥田(小西)由井健之助(小泉)雪子夫人(東)馬丁吉五郎(木村)女中なつ(三輪)花房光公(江見)

廓のうはさ

古きを去つて新しきを好むは人の常されば姑に新町遊廓より現れたる新來の美妓二三名併せて左に御披露可仕候▲先づ第一樓に横濱港より新輸入の君香若駒となん申す名花二輪三味線は四畳半の異猫に「雨の夜」位は彈くとの事に候へばしつぽりを好む流連客にはれ跳向きと存候、年齢は何れも二十三四の婀娜姿、殊に容色の好い事は昨今廓内にて□の評判に候▲京城樓にて此れも新妓の喜代子と申すは年齢は十九ツ明の春、花なれば滿開時標致は素より惡かろ筈なく至極雅氣なき可愛らしき妓にて候▲長らくの病氣に何分の心配なしたる滿月樓の金吾には愈々一昨日は諸所の寺院には諸行無常の鐘の響く彼岸の中日の夕邊に全癒退院なしたる由に候へば此段御安心被成樣誤親類筋へ誤通知申候南無阿彌陀佛▲廓内にて高襟美人と云へば通りの好い京城樓の茶羅子遠からず滿期との事に候、されば花の京城を後に見て月の出汐の横濱さしてサヨならと長い舌れ出すのも近日の内に候へば何れ好ちやんとの辛い離別に哀な愁歎場を演せらるゝ事と存候、その時は雨も降ふが暴風雨となろふが涙のあり丈け泣いてやるとドエライ意氣込にて候、されば其涙で玄海灘に水增して連絡船が不通とならねば好いがと餘計な事ながら今から案じられ候(鈴之助)▲井門支店の妻枝は愛嬌タップリの稼切者名ゝ妻枝の妻の名に背かぬ待遇振りは感心の次第に候まゝ▲同樓ゝ喜美枝權高に見ゆれど至つて優しい悧怜者に御座候▲大阪屋の松葉は三月十九日限り芽出度く年期滿ちし廓なるに何うした事やら曖味に葬られて居る樣だなぞと申すものも有れば一詮索の要こそ候へ▲京城樓の茶羅子の稻荷堂れ籠りの一件は明晩のお樂しみと致すべく候(ハタキの助)

今日の運勢

●三月廿五日(舊二月廿五日)一白甲午友引 平△一白 横領盤難を防ぎ共同協合の事を戒しむ旅行起業開店婚談移轉見合せの事△二黑 取引上破れ易く又不如意の事多き日なり婚談中裁協調商談旅行移轉見合せの事△三碧 婚談中裁協約に忌む他は進んで吉裁判及び決算分離解散に好し△四綠 便宜援助を得る日なり大凡吉起業入學門開店披露命名及子孫び事を擧ぐるに好し△五黃 衰運日陪償の事務に商談談合協定婚談に不可起業開店旅行見合せの事△六白 中絶離間不和紛爭を戒しむ他は便宜利得あるも日業務上進んで宜し△七赤 近親の事係累あり運送旅行に注意すべし他は靜事△八白 飢餓多し取引貸借賣買談合委囑効無し旅行起業開店移轉婚談凶△九紫 不如意多し計畫探見目論見設計は悉け進んで支障なき他に手控への事(三一館判斷)